

# HIDWR

## 兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成23年第29週(7月18日~7月24日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### 手足口病

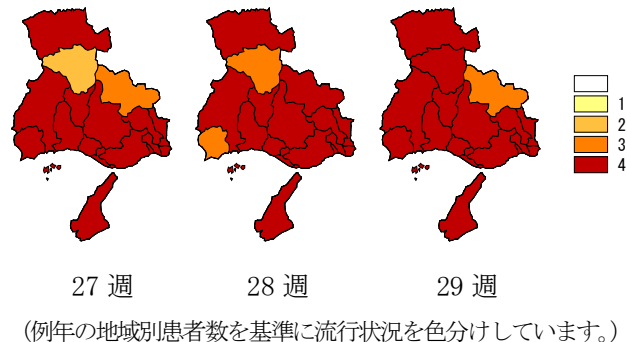
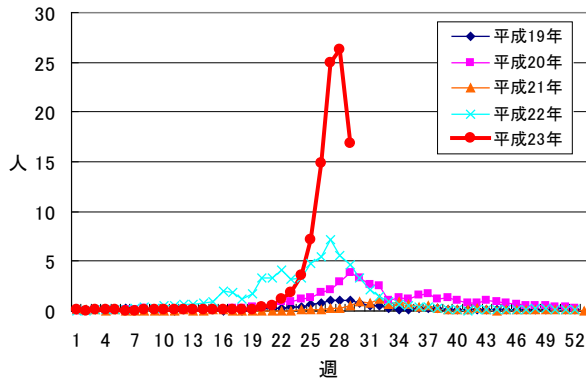
定点あたり患者数は今週 **16.86人**と先週(26.24人)より減少し、流行のピークは越えた模様です。しかし、今年の流行は定点観測開始以来最大規模の流行となっており、しばらくは注意が必要です。

地域的には丹波保健所管内を除く16保健所管内が警報レベルである定点あたり患者数5人以上となっています。患者の年齢分布は1歳(25%)、2歳(17%)、3歳(15%)、4歳(12%)の順で、0~5歳で全体の87%を占めています。

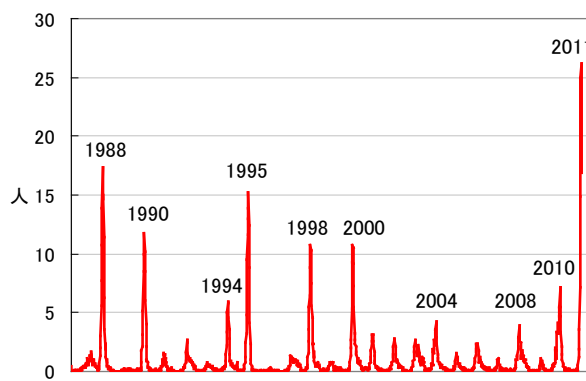
兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、4月及び5月に採取された手足口病患者の検体から**コクサッキーウイルスA6型**を検出していますが、その後(5月中旬~7月中旬)洲本市、姫路市、柏原市、朝来市の医療機関で採取された手足口病患者8名(1歳~8歳)の検体(便、直腸ぬぐい液、咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液)からも**コクサッキーウイルスA6型**を検出しました。

手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染などです。保育園や幼稚園などの乳幼児施設における感染予防では手洗いの励行と排泄物の適正処理が基本となります。

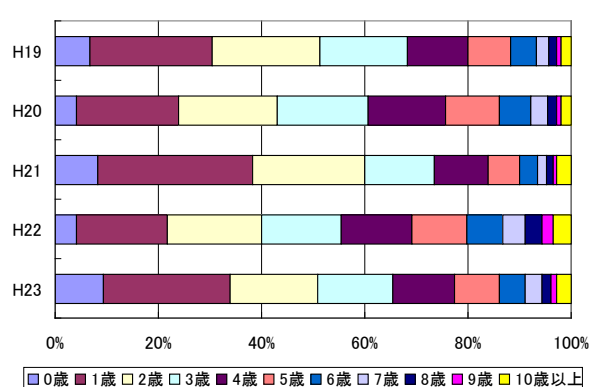
手足口病の定点あたり患者発生状況(県内)



手足口病の定点あたり患者数の推移(県内)



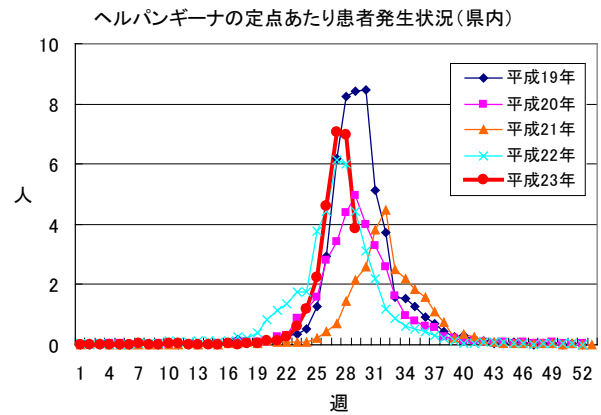
手足口病の年齢階級別患者発生割合



## ヘルパンギーナ

定点あたり患者数は今週 **3.84 人**（先週は 6.99 人）と減少し、流行のピークを越した模様です。県内では姫路市、西宮市、龍野及び洲本の 4 保健所管内が警報レベルである定点あたり患者数 6 人以上になっています。

兵庫県立健康生活科学研究所：健康生活科学研究センターは、姫路市及び佐用町の医療機関で 4 月及び 5 月に採取されたヘルパンギーナ患者 7 名（0 歳～7 歳）の検体（全て咽頭ぬぐい液）から**コクサッキーウイルス A6 型**を検出しました。



## 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

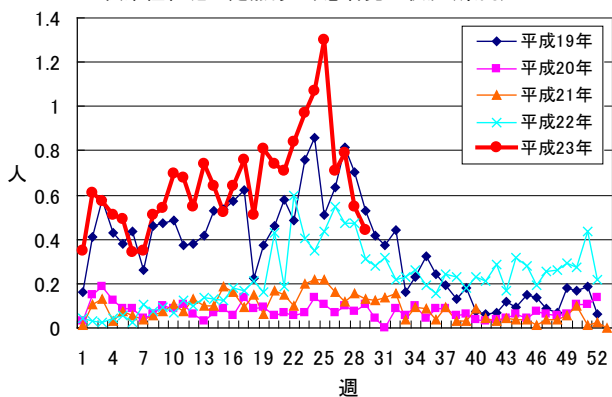
順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	手足口病	16.86	26.24	-9.38	6位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.49	0.64	-0.15
2位	ヘルパンギーナ	3.84	6.99	-3.15	7位	突発性発しん	0.46	0.78	-0.32
3位	感染性胃腸炎	2.36	3.19	-0.83	8位	伝染性紅斑	0.44	0.55	-0.11
4位	流行性耳下腺炎	0.84	1.29	-0.45	9位	流行性角結膜炎	0.43	0.43	±0.00
5位	水痘	0.78	1.25	-0.47	10位	咽頭結膜熱	0.36	0.59	-0.23

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

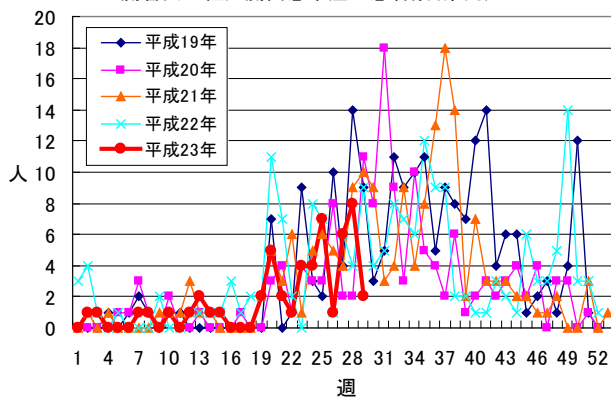
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 20 名</b> （神戸市 11 名、尼崎市 2 名、姫路市 1 名、西宮市 1 名、宝塚保健所管内 1 名、明石保健所管内 1 名、加古川保健所管内 1 名、加東保健所管内 1 名、洲本保健所管内 1 名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 2 名</b> （有症者 2 名、うち HUS 0 名） （神戸市； O157 VT2+ 女性 20 歳代、O26 VT1+ 女性 30 歳代）（累積報告数 56 名；有症者 42 名、うち HUS 1 名）
4 類感染症	<b>レジオネラ症 1 名</b> （姫路市；肺炎型 男性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）
5 類感染症	<b>アメーバ赤痢 1 名</b> （尼崎市；腸管アメーバ症 女性 30 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）
追加報告	<b>結核 10 名</b> （尼崎市 2 名、姫路市 2 名、西宮市 3 名、加東保健所管内 1 名、龍野保健所管内 1 名、朝来保健所管内 1 名）、 <b>腸管出血性大腸菌感染症 3 名</b> （尼崎市；O157 VT1+ VT2+ 男性 50 歳代、明石保健所管内；O157 VT2+ 女性 20 歳代、朝来保健所管内；O157 VT2+ 女性 60 歳代）、 <b>レジオネラ症 2 名</b> （明石保健所管内；肺炎型 男性 30 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、朝来保健所管内；肺炎型 男性 60 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；水系感染） <b>梅毒 1 名</b> （赤穂保健所管内；早期顕症梅毒（Ⅱ期） 男性 30 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）

目で見える動向（県内）

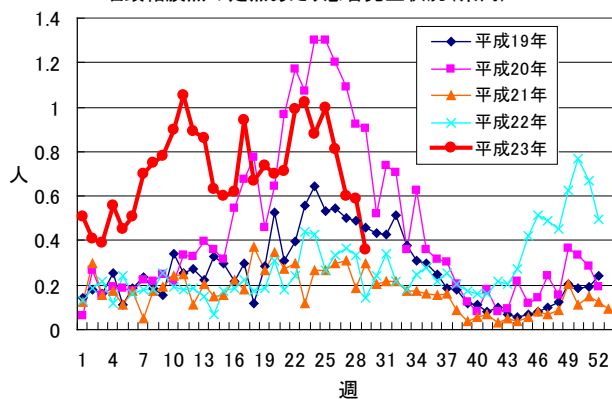
伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



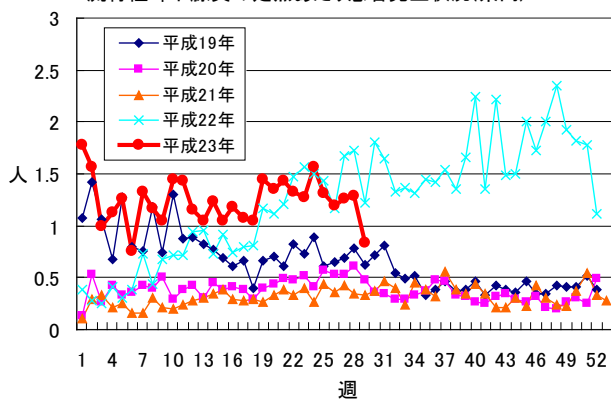
腸管出血性大腸菌感染症の患者数（県内）



咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。